



年 組 名前

道新 ワークシート

B

A

住宅街出没のクマ駆除

札幌・南区で雌1頭射殺

14日午前6時5分ごろ、札幌市南区藤野の山林で、巡回していた北海道猟友会札幌支部のハンターがヒグマ1頭を発見し、射殺、駆除した。札幌市は同区藤野、簾舞両地区の住宅街に連日、出没していた雌のクマと確認した。

市によると、クマは体長1・4メートル、体重128キログラムで、推定年齢8歳程度。市内で銃によるクマの駆除は2013年以来6年ぶり。

藤野、簾舞両地区では8月に入り、札幌市の把握分だけでもクマの目撃情報が12日までに計17件あった。住宅地にも相次いで出没し、家庭菜園を荒らすなどしていた。

市は「さっぽろヒグマ基

本計画」に基づき、道警や専門家との協議を経て9日、危険度が4段階中2番目に高い「段階2」と判断。10日に箱わな2基を藤野に設置したが、捕獲できず、住民への危険性が高まったとして猟銃で駆除することを決めた。13日早朝から北海道猟友会、道警と連携して巡回を始め、14日も早朝

からハンター4人が巡回していた。

藤野地区には墓地が複数あり、お盆を前に市は13日、市営藤野墓地への墓参りを自粛するよう要請していたが、14日午前に解除した。

市環境共生担当課は「学校の夏休みが終わり2学期が始まる前に駆除できてよかった」と話す。クマの生態に詳しい道立総合研究機構環境科学研究センター（札幌）の間野勉自然環境部長は「市の基本計画に基づき、駆除という適切な選択肢を取ったと考えている」とコメントした。

（久保吉史、竹内桂佑）

2019年8月14日（水）夕刊 全道版 1ページ（記事は再編集しています）

クマ駆除に意見300件

札幌市道外からの抗議大半

札幌市南区藤野、簾舞の住宅地に出没を繰り返したヒグマをハンターが猟銃で駆除したことを受け、札幌市には15日までに、約300件の意見が寄せられた。大半が射殺したことへの抗議で、市は「人命を最優先した。不測の事態を招く恐

れがあるクマの駆除はやむを得ない」と説明している。

ハンターは14日早朝、クマを射殺。市には同日に244件、15日は午後4時までに50件の意見が寄せられた。ほとんどが首都圏や関西など道外からで、「麻酔で眠らせて森に返して」「捕まえて動物園に移して」などの抗議だった。

一方、クマ出没で危険にさらされた南区の住民からは「安心した」「もっと早く対応してほしい」といった声があった。

クマの生態に詳しい酪農学園大の佐藤喜和教授（野生動物生態学）は「駆除したクマは市街地の農作物に執着しており、人命を守るために仕方なかった」としている。

（竹内桂佑）

2019年8月16日（金）朝刊 全道版 29ページ

①Aの記事とBの記事では、クマの駆除に対する意見のとりあげ方に違いがあります。それは、どんなことでしょうか。

Aの記事は…

Bの記事は…

②あなたは、市がクマを駆除するという判断をしたことについて、共感できますか、共感できませんか。自分の立場とその理由を書きましょう。